

金沢市立夕日寺小学校 里山遠足 ～自然や歴史、文化を五感で体感～

団体名● Future Makers

代表者名● 田代 花（人間科学部スポーツ学科・夕日寺PJリーダー）

はじめに

夕日寺小学校では令和2年度当時のコロナ禍で学校行事の分散開催や中止などに苦慮していた。特に小学校最後の年となる6年生にあたっては、楽しい思い出づくりとして「夕日寺健民自然園」を中心とした里山遠足の実施を校長先生、本学学生、地域有志で策定し企画、実施して5年目となった。「夕日寺検定」や事前・事後学習の父兄参加など学生が提案した企画が採用され年々バージョンアップし継続されている。

今年度は新たに学生団体として立ち上げた「Future Makers」が企画を担当し、「遠足を通して、自分が里山について考えたことを言語化し、伝えられるようになる」「大学生と関わりを持ち、里山を守るための活動を自分ごととして捉えられるようになる」という里山遠足の目的を立てた。6年生が地元の良さの再発見と地域づくりに繋げるために、夕日寺校下の古道や史跡を巡るコースを活用し、自然や歴史、文化を五感で体感し理解を深める企画を実施した。

活動内容

〈実施日〉

- 事前学習：2024年9月19日（木）13:25～15:05
- 遠足当日：2024年10月2日（水）8:00～15:30
- 探求学習：2024年10月24日（金）13:25～15:05
- 事後学習：2025年1月30日（木）13:25～15:05

〈参加〉

- ・夕日寺小学校6年生 45名
- ・本学学生 23名

〈協力団体〉

- ・夕日寺小学校
- ・夕日寺歴史研究会
- ・自然インストラクター
- ・金沢星稜大学未来共創プロジェクト Future Makers（夕日寺PJメンバー）

〈内容〉

○事前学習

大学生と児童との交流を深め、児童自ら目標を設定し、遠足当日に自分たちのすべきことを明確化することを目的に、当日の注意点、準備の内容や里山の歴史、衣食住についての話題提供を行った。

○遠足当日

小学6年生と本学学生がグループごとに、夕日寺の自然、歴史、文化についてミッションや夕日寺検定をしながら12kmのコースを散策した。遠足実施にあたり、本学学生の夕日寺PJメンバー、夕日寺小学

校、夕日寺歴史研究会、自然園インストラクターとのミーティングを行い、活動方針や企画などを話し合った。また、当日の児童への安全面を考慮し、事前に参加学生を対象に遠足コースの下見を実施した。遠足当日ではPJメンバーが主体となって参加学生の統括、進行などを務めた。

○探求学習

遠足を通して児童が興味関心を持った事について探究する時間を設けた。今年度は遠足を通じて児童が関心を持ったことについて探究する探究学習を実施した。

○事後学習

遠足、探究学習を通して学んだ事について今年は児童一人一人がスライドを使って発表を行った。これまでは遠足で体験したことを発表する流れであったが、今年度は児童たちが住む故郷について関心を持ち、それを守っていくために自分たちに何ができるか考えたことを発表した。



里山遠足当日の集合写真



里山遠足中の様子

成果、結果の考察

本年度も、児童と大学生が交流を深め、夕日寺の里山に関する歴史や自然について共に学ぶ機会を持つことができた。また、事後学習では、里山や自分たちの住む地域について「自分たちに何ができるか」を探究し、その成果を発表することができた。単なる遠足としての体験発表にとどまらず、今回のような探究学習の機会を設けることで、児童が主体的に自らの故郷について考え、具体的な行動につなげる意識を育むことができたと考えられる。

今後の課題、展望

来年度から金沢市の学校教育モデルが新しくなることを受け、児童自ら目標を持って探求できるような環境を整える工夫が必要となる。これまでは大学生が主体となって機会を提供することが一般的であったが、今後は児童の主体性を引き出すことを重視した活動の在り方を検討していくことが重要であると考えられる。